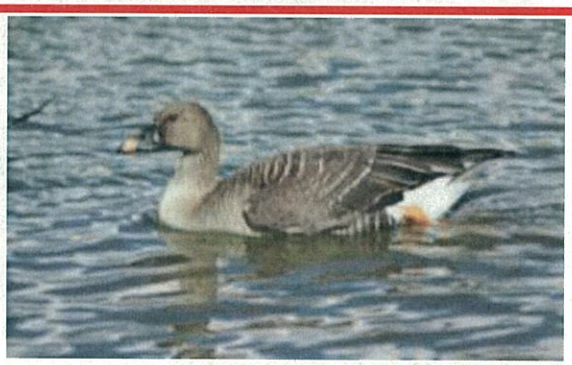
■高病原性鳥インフルエンザウイルスに対し、感染リスクの高い種

環境省作成資料抜粋

リスク種１



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ヒシクイ（*Anser fabalis*）

【特徴】嘴は黒く先に橙味を帯び、先端は黒。頭部から上面、胸、脇は暗褐色で、腹から体下面、上尾筒、下尾筒は白。足はオレンジ。

【分布】冬鳥として局地的に渡来。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●マガン（*Anser albifrons*）

【特徴】嘴はピンク。まれにオレンジ。嘴基部周辺が白い。足はオレンジ。全身が黒褐色。下面はやや淡い。腹に黒斑。

【分布】北海道を通過して本州で越冬。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●シジュウカラガン（*Branta hutchinsii*）

【特徴】頭から頸は黒く、頬から喉に白斑がある。胸、腹は灰褐色。下腹、下尾筒は白い。足は黒色。

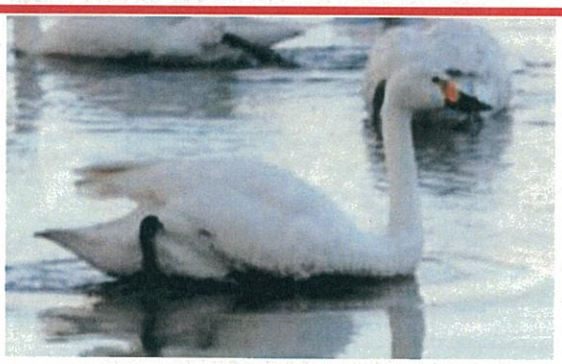
【分布】宮城県に定期渡来。少数が越冬。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●コブハクチョウ（*Cygnus olor*）

【特徴】全身は白い。細長い頸。嘴はオレンジ。基部には黒いこぶがある。足は黒い。

【分布】元は飼われていたものが各地で野生化。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コハクチョウ（*Cygnus columbianus*）

【特徴】全身は白い。オオハクチョウに比べて短めの頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。オオハクチョウよりも黄色の面積が狭い。足は黒い。

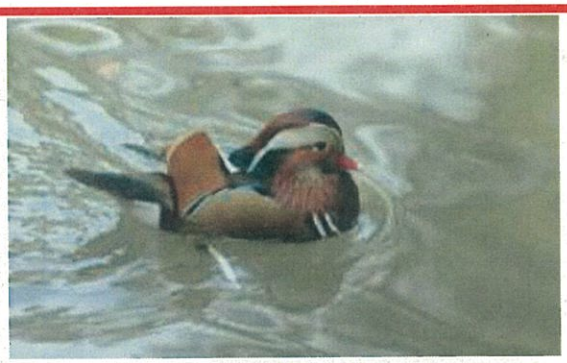
【分布】主に北海道・本州で越冬。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●オオハクチョウ（*Cygnus cygnus*）

【特徴】全身は白い。細長い頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。コハクチョウよりも黄色の面積が広い。足は黒い。

【分布】関東以北で越冬。

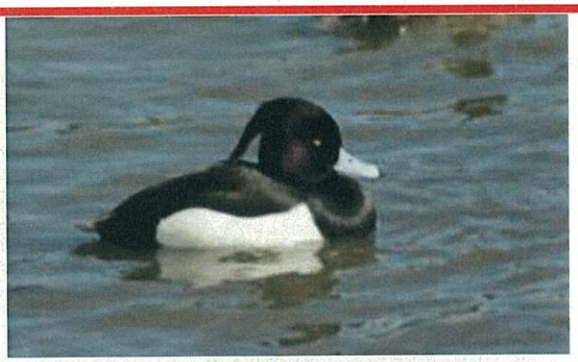


撮影：(一財) 自然環境研究センター

●**オシドリ**（*Aix galericulata*）

【特徴】嘴は紅色で先端は白。顔は白く、頸には栗色の筋状の羽。脇は黄褐色で、三列風切羽には特徴的な銀杏羽。

【分布】主に本州中部地方以北で繁殖し、冬は西日本で越冬するものが多い。

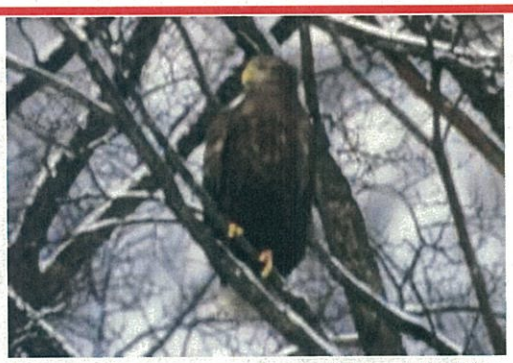


撮影：(一財) 自然環境研究センター

●**キンクロハジロ**（*Aythya fuligula*）

【特徴】嘴は青灰色で先端は黒い。虹彩は黄色。頭は紫色光沢があり、後頭に房状の冠羽。

【分布】主に冬鳥。全国で越冬。



撮影：小林　靖英

●**オジロワシ**（*Haliaeetus albicilla*）

【特徴】全体的に褐色味を帯び、体の下方になるほど体色が濃い。尾は短く白色。嘴と足は淡黄色。

【分布】日本では北海道の北・東部で少数が繁殖するが、多くは冬鳥として北日本に飛来。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●**オオワシ**（*Haliaeetus pelagicus*）

【特徴】体は全体的に黒褐色だが、額、翼前縁、腰、尾、上・下尾筒が白色。嘴は大きく橙黄色。

【分布】日本へは冬鳥として主に北日本に渡来する。

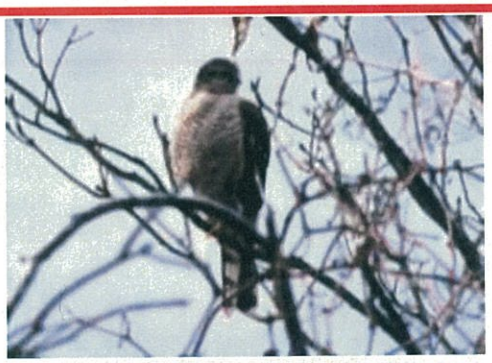
撮影：岸　久司

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●**チュウヒ**（*Circus spilonotus*）

【特徴】全体が褐色であるが、雌雄共に個体による羽色の変異が多い。帆翔時には翼を浅いＶ字型にして飛ぶ。

【分布】本州以南に冬鳥として飛来。本州中部以北で局地的に繁殖。



撮影：小林　靖英

●**ハイタカ**（*Accipiter nisus*）

【特徴】オス成鳥はキジバトと同大。頭部から上面は灰青色。体下面は白く、胸から腹に橙褐色の横斑がある。

【分布】留鳥として四国以北に分布する他、全国的に冬鳥として渡来。

●**オオタカ**（*Accipiter gentilis*）

【特徴】嘴基部と足は黄色。虹彩はオレンジ色または黄色。上面は暗青灰色、下面は白く黒褐色の横斑がある。白色の眉斑が目立つ。

【分布】留鳥としてほぼ全国で繁殖するが、南西諸島ではまれな冬鳥。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●**サシバ**（*Butastur indicus*）

【特徴】眉斑は不明瞭、胸は茶褐色。腹から仮面は幅広い褐色の斑。全身は黒褐色。喉は白いが、黒い縦線が目立つ。

【分布】本州・四国・九州に夏鳥として飛来。

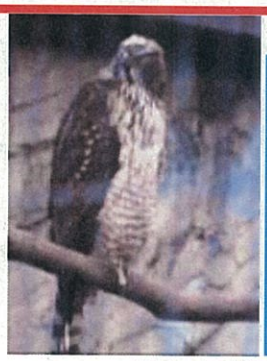
撮影：小林　靖英

撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ノスリ**（*Buteo buteo*）

【特徴】嘴は黒褐色で太い顎線がある。上面は褐色味が強く下腹に褐色斑がある。飛翔時、翼角の暗黒色斑が目立つ。

【分布】主に留鳥として本州中部以北で繁殖。四国・九州以南では冬鳥として飛来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**クマタカ**（*Nisaetus nipalensis*）

【特徴】後頭に冠羽がある。胸は白く、黒褐色の縦斑がある。飛翔時に翼の幅が広く見える。

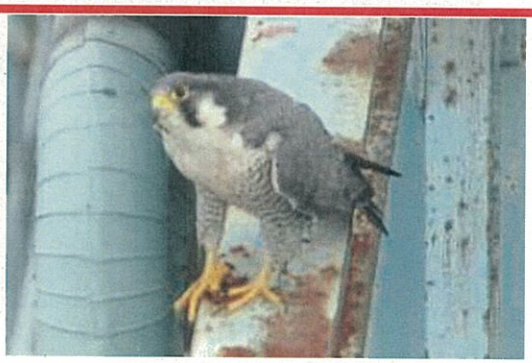
【分布】九州以北で留鳥。

撮影：堤　朗

●**チョウゲンボウ**（*Falco tinnunculus*）

【特徴】背と翼上面は茶褐色で黒褐色の斑がある。頭と尾は青灰色。眼先から下へひげ状の黒斑がある。

【分布】全国に冬鳥として飛来するほか、主に東日本で繁殖もする。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ハヤブサ**（*Falco peregrinus*）

【特徴】状面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の横斑がある。頬に目立つひげ状の黒斑がある。

【分布】留鳥として九州以北で繁殖するほか、全国に冬鳥として飛来。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●マガモ（*Anas platyrhynchos*）

【特徴】嘴は黄色。足は濃いオレンジ色。頭は暗緑色。頸に細い白の輪。胸は茶色。

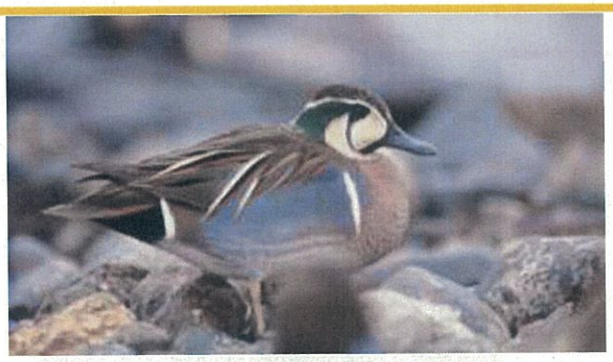
【分布】冬鳥として全国に渡来する。北海道などでは少数が繁殖。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オナガガモ（*Anas acuta*）

【特徴】嘴は黒く。両側は青灰色。頭部から後頸にかけてチョコレート色。頸と胸は白い。尾羽は黒色で細長い。

【分布】全国的に冬鳥として飛来。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●トモエガモ（*Anas formosa*）

【特徴】顔の模様が特徴的で、黄白色、緑、黒の三色の巴形をしている。胸は赤紫褐色で脇は青灰色。

【分布】冬鳥として本州以南の日本海側に多く渡来する。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ホシハジロ（*Aythya ferina*）

【特徴】嘴は黒く、中ほどは鉛色。足は鉛色。頭から頸は赤茶色。上・下面とも灰色で、細かい黒い波状の斑がある。胸と尻は黒。

【分布】主に冬鳥。全国に飛来。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●スズガモ（*Aythya marila*）

【特徴】オス成鳥の頭部は緑や紫の光沢色。胸と上・下尾筒は黒い。背は白いが細かく黒い波状斑がある。脇と腹は白色。

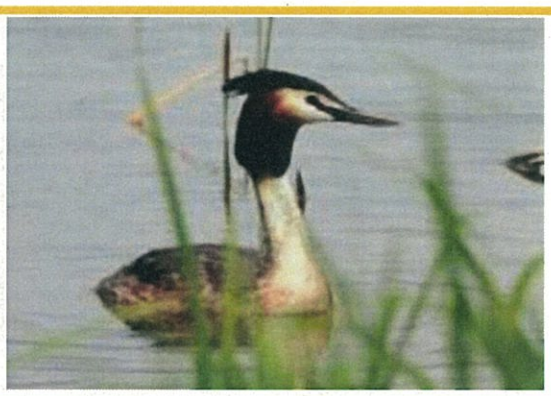
【分布】全国的に冬鳥として飛来。

撮影：(一財) 自然環境研究センター

●カイツブリ（*Tachybaptus ruficollis*）

【特徴】太くて黒い嘴、基部は黄白色。尾は非常に短く体は丸い。全体は黒褐色で、頭から頸にかけて赤褐色。

【分布】北海道から南西諸島まで広く繁殖。北日本では夏鳥、それ以南では留鳥。



●カンムリカイツブリ（*Podiceps cristatus*）

【特徴】嘴はピンク色。頭上は冠羽。頬に赤褐色と黒色の扇状に広がる飾り羽。（写真は夏羽）

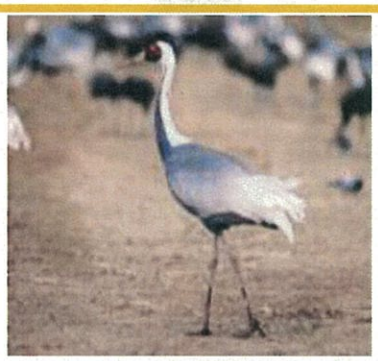
【分布】青森県と琵琶湖で繁殖が記録されているが、ほとんどは冬鳥として九州以北に渡来する。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●ハジロカイツブリ（*Podiceps nigricollis*）

【特徴】黒くてやや上に反った嘴。冬羽では、頭から背中は黒褐色。顔から胸にかけて白い。

【分布】冬鳥として九州以北に飛来。

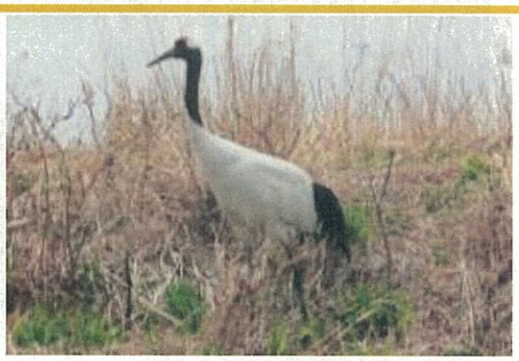


撮影：（一財）自然環境研究センター

●マナヅル（*Grus vipio*）

【特徴】眼の周囲の皮膚が赤く露出している。頭頂から後頸にかけて白く、頸から胸、腹、下尾筒までと背は灰白色。足は淡紅色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方に渡来。

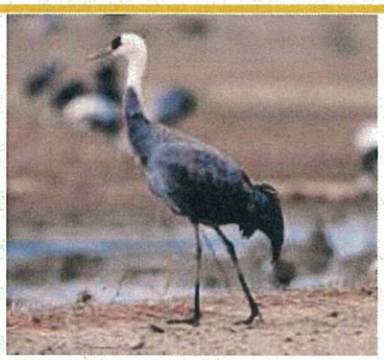


撮影：（一財）自然環境研究センター

●タンチョウ（*Grus japonensis*）

【特徴】頭頂には赤い皮膚が露出している。体と尾、眼の後から後頸にかけた部分が白い。眼の前から喉、頸と次列、三列風切羽が黒い。足も黒色。

【分布】北海道東部の釧路湿原などで繁殖し、留鳥として生息。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ナベヅル（*Grus monacha*）

【特徴】嘴は黄色みを帯びる。額が黒く、眼の上は赤色。頭部から頸は白く、その他の部分は灰黒色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方と山口県周南市に渡来する。

撮影：川上　貢

●バン（*Gallinula chloropus*）

【特徴】嘴と額は赤で、嘴の先端は黄色。足は黄緑色で腿は赤い。前身は黒く、上面は褐色味がある。脇腹に白斑がある。

【分布】関東以北では夏鳥。それ以南では留鳥。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●**オオバン**（*Fulica atra*）

【特徴】嘴と額は白い。全身黒色。

【分布】ほぼ全国で繁殖し、本州以南で越冬。

撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ユリカモメ**（*Larus ridibundus*）

【特徴】細くて暗赤色の嘴。足は赤い。全身は淡い青灰色。夏羽の頭部は褐色味の黒。

【分分布】ほぼ全国に冬鳥として飛来。

撮影：増田　正和

●**コノハズク**（*Otus sunia*）

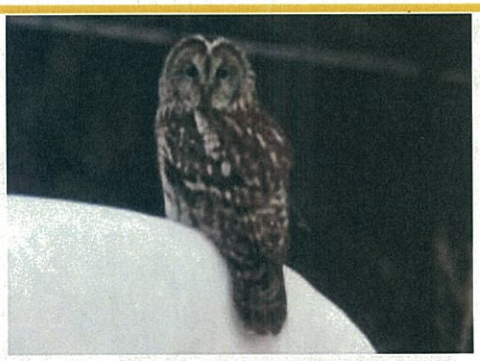
【特徴】褐色型と赤色型がある。羽角がある。虹彩は黄色。

【分布】九州以北に夏鳥として飛来。

●**ワシミミズク**（*Bubo bubo*）

【特徴】羽角がある。全体は茶褐色。頭・胸には黒褐色の縦斑。腹には細かい横じま。

【分布】北海道北部で繁殖。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**フクロウ**（*Strix uralensis*）

【特徴】頭部から背は灰褐色で、褐色の縦斑が密にある。胸から体下面は淡灰褐色で褐色の縦斑がある。顔にはハート型の縁取りがある。羽角はない。

【分布】留鳥として九州以北に分布。

■**連絡先**

・環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室　TEL：03-5521-8285
・北海道地方環境事務所　TEL：011-299-1954
・釧路自然環境事務所　TEL：0154-32-7500
・東北地方環境事務所　TEL：022-722-2876
・関東地方環境事務所　TEL：048-600-0817
・中部環境地方事務所　TEL：052-955-2139
・長野自然環境事務所　TEL：026-231-6573
・近畿地方環境事務所　TEL：06-4792-0706
・中国四国地方環境事務所　TEL：086-223-1561
・九州地方環境事務所　TEL：096-214-0339
・那覇自然環境事務所　TEL：098-858-5824

（H26.9.更新）